

J **apanese text**

2018年 秋/冬号 日本語編

旅館

秋澄む

[The Ryokan Collection]

写真 = 工藤憲二 文 = 鈴木博美

p.078

大陸から乾燥した冷たい大気が流れ込むとともに、空の透明度が高まり、遠くに望む景色も鮮やかになる秋に訪れるべきは、紅葉する山々に囲まれた旅館。そこは、日本人が“澄む”と表現する美しさに満ちている。

高温で湿った空気が列島を覆う夏が過ぎると、ようやく過ごしやすい秋が巡ってくる。この時期の日本は、祝日が多くあるためしばしば連休となり、絶好の行楽シーズンとされている。暑かった夏と、寒さ厳しい冬との合間の、ほんのひととき。爽やかな気候、収穫期を迎えた美味なる食材、そして鮮やかに色づく紅葉が、人々を旅へと誘う季節となる。

日本人が四季折々に對して抱く情趣を知るために、目を向けたのは季語である。自然観や哲学、思想、美意識などが17音の中に込められている、世界で最も短い詩として知られる俳句。俳句は、必ず季節を表す言葉である季語を含ませるのが作法となっており、季節感の文学とも言われている。日本の気候風土や、季節に対して鋭敏な感覚を持つ日本人の民族性をも表す季語で、秋は「澄む」と表現されてきた。「秋澄む」は、澄んだ大気のこと。「水澄む」は、底が見えるほどに透明度が高まった川や湖水の様子。「空澄む」は、澄明なる天空。「物の音澄む」は、澄んだ空気の中で、あらゆる音が冴えてはつきり聞こえること。そして、紅葉に彩られる山々は「山澄む」と表現される。いわば「澄む」という感覚は、日本の秋そのものなのである。

森羅万象が澄んで感じられる秋を味わうのであれば、豊かな山々の自然に抱かれた場所にある旅館に滞在するのがおすすだ。錦に染まる紅葉を楽しみながら過ごしていると、いつもより景物の輪郭がくっきりと見えていることに気付くことだろう。川のせせらぎや葉擦れの音、鳥のさえずりや虫の

音もクリアーに響いてくる。そして、温泉で清められた素肌をやさしく撫でてゆくのは爽やかな秋風。夜になれば、星や月の輝きも明瞭に目に映る。

さらにこの時期は、多くの農作物、きのこ類、実ものなどの収穫期にあたり、旬を迎える魚介類も多い。そんな秋ならではの美味と出会えるのも旅館に滞在する大きな楽しみの一つである。自然の恵みや美しさを味わっているうちに、自分自身の内なる感受性や繊細さが高まり、きっと心身までもが澄んでいくかのような心持ちになってゆくはずだ。秋の旅館で過ごすひとときは、夏の疲れや心の淀みをも澄み渡らせるこの上ないリフレッシュとなるだろう。

(p.079)

左：最上階に位置するロビーフロアのオープンテラスから望むのは、秘境の霧囲気が漂う箱根連山。山頂からだんだんと紅葉が色づき始めるのは10月下旬頃から。11月下旬頃まで山が錦に染まりゆく絶景を楽しめる。
 下：全ての客室のテラスには、露天風呂が備わっている。山々を眺めながらプライベート空間で心ゆくまで温泉を堪能できる。写真提供＝箱根吟遊

左下：吟味した旬の食材を使った目にも鮮やかな懐石料理を、各部屋のダイニングルームで味わうことができる。

(p.080)

左：江戸時代に俳句の礎となった俳諧を、芸術文化へと大成させた松尾芭蕉も愛した山中温泉。大自然を眼前にした半露天風呂で、源泉かけ流し温泉に身を委ねる至福の時間を味わうことができる。紅葉の見頃は、11月10日頃から約2週間。

上：館内各所に生けられているのは情趣溢れる季の花。障子越しの柔らかな光も美しい。

下：大きなガラス張りの窓から庭を望むロビーの一角。

(p.081)

右：白壁と瓦屋根のコントラストが印象的な、蔵をイメージして作られた「迎賓館 蔵」。内部に3つの個室ダイニングスペースがある。

右下：季節の食材を、繊細な技で巧みにアレンジした京風懐石料理。味の美味しさはもちろん、彩りの美しさにも目を奪われる。

下：坪庭と半露天風呂が付いた本館客室「飛鳥」。和の風情溢れる空間が極上の憩いへと誘う。

写真提供＝神仙

箱根吟遊

日本の老舗旅館のおもてなしと、バリの様式美が融合したラグジュアリーリゾート。渓谷に建ち、全客室から雄大な箱根連山のダイナミックな景色を一望することができる。各部屋のオープンテラスに設けられた専用露天風呂はもちろん、大浴場「山のインフィニティ風呂」からの眺望も素晴らしい。体を芯から温め保湿効果にも優れた温泉に浸かりながら、開放的な気分を味わえる。東京から車で約1時間という便利なロケーションでありながら、大自然に抱かれる洗練された非日常の世界を満喫できる。

住所／神奈川県足柄下郡箱根町宮ノ下 100-1

部屋数／20室

指の紅葉の名所「高千穂峡」まで、車で約5分とアクセスが良い。

住所／宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井 1127-5

部屋数／13室

かよう亭

開湯1300年もの歴史を持ち、日本屈指の古湯である山中温泉にある新数寄屋造りの旅館。旅人が我が家に帰ったとき安らぎを覚える宿であることを理念に掲げ、真の癒しの空間を満喫してもらいたいと、約3.3ヘクタールという広大な敷地に作られた客室はわずか10室のみ。地元の食の生産者と独自のネットワークを育み、有機農法の合鴨米をはじめとする農作物や海産物、調味料に至るまで、安心安全な食材を用いた心づくしの料理を目当てに訪れる美食家も多い。9月21日まで館内一部改装のため休館中。

住所／石川県加賀市山中温泉東町1-ホ-20

部屋数／10室

神仙

九州山地の中に位置し、日本神話にゆかりのある高千穂に佇む宿。敷地内には四季折々の風情が堪能できる日本庭園があり、館内全てが畳敷きになっている。それぞれに異なるコンセプトを持つ多彩な趣の全客室に専用露天風呂を備えている。プライベートの庭がある離れの部屋も人気が高い。女性客は「浴衣ルーム」に支度された約40着の浴衣の中から、好みのものを選んで着付けてもらえるサービスもある。神話の舞台と伝えられ、11月中旬から下旬が見頃となる屈